協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

どちらの魚が好きですか？

事務局 南部 章

昨今の魚食離れもあり、「どの様な魚が好まれているのでしょうか」という質問も、以前とはいささか意味するところが異なっているようにも思います。そもそも魚よりも肉の方が良いと言う方が多く、取り分け若い方にその傾向が強いようで、統計的にも明らかにされています。しかしながら、四方を海に囲まれた我国において魚が必要欠くべからざる食材であることに変わりはありません。

それでは、どの様な魚が好まれているのでしょうか。東日本はサケが好まれ、西日本ではブリが好まれると言う事が良く言われます。正月の縁起物の「年取り魚」ではその傾向が顕著に表れています。その境界線はフォッサマグナの糸魚川・静岡構造線にほぼ一致すると言われています。長野県はこの境界線上で東西に二分され、東側の長野市はサケで西側の松本市はブリに別れます。地質と食文化とは関係ないと思うのですが。

日本で魚は、神事や祭事の供え物として欠かせない縁起物であり、それを大晦日に用意して正月の年神様を迎える風習があります。普段は食べる事が出来ない贅沢な食材も、この日に限っては「年取り膳」として食卓にのぼりました。その食卓にのぼった魚が年取り魚で、昔の日本では海岸から遠く離れた地域で魚料理を口にできるのは正月くらいのものでしたようです。低温流通技術の無かった当時は、塩蔵品としてサケやブリが運ばれていました。サケは「栄える」に通じ、ブリは出世魚でいずれも縁起物として年取り魚に用いられたのではないのでしょうか。

東日本がサケ派というのは、日本におけるサケの主な分布域が東北以北であることを考えますと、説得力があるような気がします。特に北海道では全国で水揚げされるサケ・マス類の9割以上(令和4年農水省統計)を占めておりますので、北海道を代表する魚の一つであり、サケを食材とした料理も多く食されています。江戸時代から明治時代にかけて活躍した北前船は、昆布やニシンと共にサケを本州に運び入れましたので、北海道を代表する魚であることに間違いはないようです。

縄文時代の遺跡の分布から見て、西日本よりも東日本の方がはるかに人口密度は高かったようですが、河川を遡上するサケ類資源が豊富だったことに起因すると考えられています。縄文時代は大袈裟にしても、古くからの伝統が東日本に息づいていると思います。

一方ブリは、出世魚で名前が変わります。関東では小さい順から「ワカシ」「イナダ」「ワラサ」「ブリ」となりますが、関西では「ワカナ」「ツバス」「ハマチ」「ブリ」となります。最近はハマチと言いますと、養殖ブリを指す場合が多くなりました。北陸では富山湾のブリ漁が知られていますが、正月のブリはここから各地に運ばれ「ブリ街道」として富山市から岐阜県高山市を經由して長野県松本市に通じる道がありました。この他、糸魚川から松本、塩尻峠、上諏訪にはいるルートもあり、長野県で広がっていったものと思います。

最近はサケもブリもスーパーマーケットで常時市販されており、季節感が無くなってしまいました。回転寿司でも定番の食材ではないのでしょうか。この様に、年越し魚がいつでも廉価で手に入るのは、養殖技術と冷蔵冷凍技術の恩恵を享受しているもので感謝したいと思います。

《幹事会のうごき》 令和6年6月7日(金)に、本年度第3回幹事会を(一財)日本水産油脂協会1階会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・第27回通常総会・講演会・懇親会について総括が行われた。また、事務局より出席者数や経費の報告があった。
- ・本年度の研修会は、一般社団法人大日本水産会の担当者に、本協議会と関わりのある内容についてご講演をお願いし、勉強会とすることにした。詳細については、改めて連絡を差し上げます。

《2024年5月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2024年5月			2024年1月~5月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,003	496,572	495.17	5,511	2,353,679	427.05

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2024年5月	2024年4月	2023年5月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	5,000	5,000	4,625

《情報》チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2024年第25週	2024年第24週	2024年第25週までの累計	2023年第25週までの累計
チリ	16,635	10,249	989,133	1,179,561
ペルー	8,134	15,113	2,572,530	625,827